

Hakodate

Area 函館地域

企業立地ガイド



函 HAKODATE 館

北 HOKUTO 斗

七 NANAE 飯



市区町村魅力度ランキング
全国一位の街で始めるブランディング

函館市「地域ブランド調査 2009, 2014~2016, 2018, 2019」(関ブランド総合研究所)



函館地域経済牽引事業促進協議会

立地環境

夏は涼しく、冬は積雪が少ない南北海道に位置する函館地域は、都市中心部に近く、陸・海・空の交通・輸送体系が有機的に交差し利便性に優れたビジネス環境です。また、新技術・新製品開発などの支援を行う北海道立工業技術センターなどの公設試験研究機関や知的資源のビジネス展開を企業と一緒に目指す産学官金連携に加え、優秀な人材の育成を行う大学・高専といった産業支援機能も充実した地域です。

北海道縦貫自動車道(建設中)

北海道

函館地域

東北

七飯町
NANAE

人口 28,052人
(R4.2末)
面積 216.75km²

七飯藤城 IC

函館市
HAKODATE

人口 247,278人
(R4.2末)
面積 677.87km²

JR七飯駅

北海道新幹線
新函館北斗駅

函館・江差自動車道

道南いさりび鉄道上磯駅

北斗市
HOKUTO

人口 44,928人
(R4.2末)
面積 397.44km²

北斗
茂辺地 IC

函館新道

函館新外環状道路

函館 IC

函館港

JR函館駅

函館空港

函館空港 IC

函館地域は、2市1町が地勢的に
一体の生活圏の中に人口集積

320,258人
令和4年2月末の住民基本台帳人口

地図内記号凡例

278 国道
83 道道

1万人
10万人

交通・輸送アクセスの利便性

陸・海・空と多様なアクセスルートでビジネスを加速します函館地域は、本州と北海道を結ぶ玄関口として定期フェリー航路や主要都市とを結ぶ定期航空路が整備されているほか、北海道内を結ぶ高速自動車道の整備も進められています。北海道新幹線・新函館北斗駅の開業により正確な移動も可能となり、よりビジネスに有利な環境が整いました。

羽田空港まで

85分

【函館空港から
各空港への所要時間】

※国内線は令和2年夏季時刻表による。
国際線は令和3年3月現在の時刻表による。

国際線
台北(桃園)まで
3時間35分・12往復/週
(運休中)

札幌(丘珠)まで
40分・6往復/日

札幌(新千歳)まで
40分・2往復/日

奥尻 まで
30分・1往復/日

東京(羽田)まで
85分・8往復/日

名古屋(中部)まで
95分・2往復/日

大阪(伊丹)まで
100分・2往復/日

空港から市街中心部まで
車での移動時間

20分

北海道と本州を陸続きにする
青函トンネルを通じ確実な輸送を提供

13往復

【新函館北斗駅
からの所要時間】

札幌…約1時間
(現行 3時間44分)
令和12年度末開業予定

SHIN HAKODATE HOKUTO
新函館北斗

SHIN AOMORI 新青森……………57分
(13往復/日)

MORIOKA 盛岡……………1時間47分
(12往復/日)

SENDAI 仙台……………2時間27分
(11往復/日)

OMIYA 大宮……………3時間35分
(10往復/日)

TOKYO 東京 3時間57分
(10往復/日)

大量輸送のコストパフォーマンスが
定期海上輸送航路の魅力

23便

【函館港から各港湾への所要時間】

BUSAN KOREA 3時間40分~4時間
16往復/日

TOMAKOMAI 1時間30分
2往復/日

OMA 15時間
1往復/日

AOMORI 8時間
4往復/日

HATINOHE

SENDAI

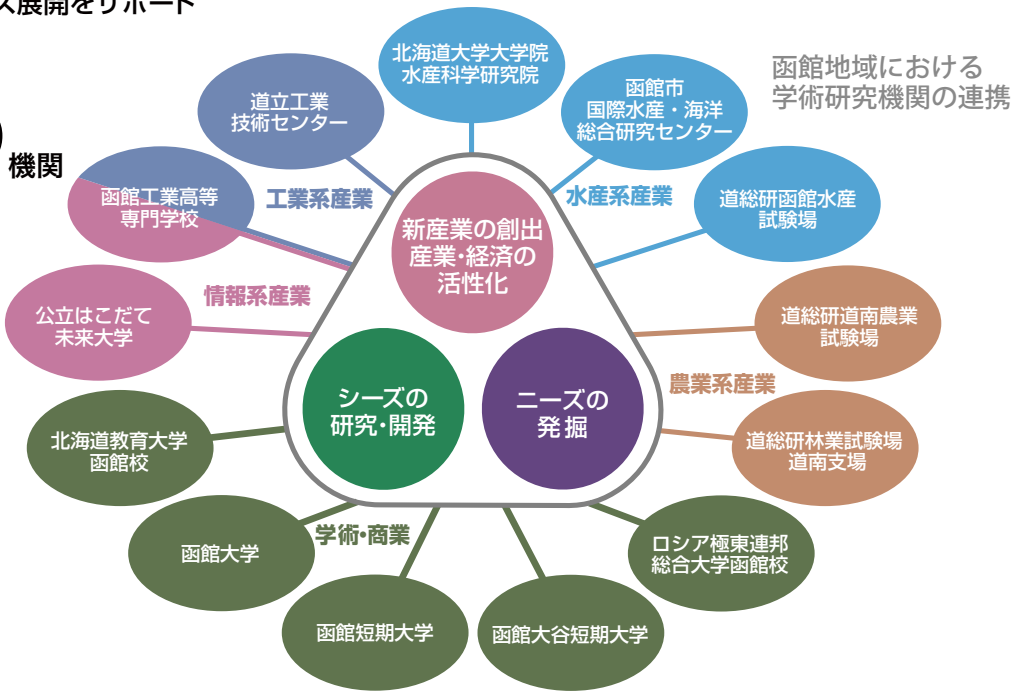
フェリー航路
コンテナ航路

活発な産学官金連携で充実の企業支援

函館地域では、研究開発施設や先端的・独創的研究プロジェクトの拠点施設が地域企業をサポートしています。また地域未来投資促進法の支援メニューを活用することができる地域で、課税の特例などの支援措置があり、北海道には最高15億円という大きな助成制度があるほか、函館地域の各市町にも立地企業に対し独自の助成制度を設けているなど、全国でもトップクラスの優遇措置が受けられます。

活発な産学官金連携が
新たなビジネス展開をサポート

13



函館市国際水産・海洋総合研究センター

水産・海洋分野の研究開発や産学官連携促進のため函館市が開設。入居型貸研究施設として、学術研究機関や民間企業が入居し「函館国際水産・海洋都市構想」のシンボリック役割も担います。



北海道立工業技術センター

函館地域の中核的試験研究機関として北海道が開設し、(公財)函館地域産業振興財団が管理運営を行います。これまで、企業活動を支援する各種事業を展開、多くの地域企業が活用しています。

投資に対する助成

最大 **30** %

雇用増に対する助成
固定資産税相当額(またはその一定割合)の助成 など

詳しくは右記QRコードへアクセス!



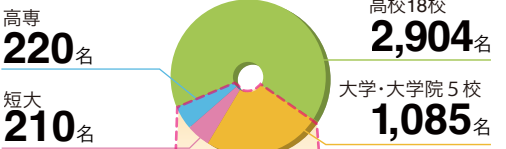
安定した事業を支える人材面

函館地域は、2市1町が生活圏を共にし、その中に約32万人の人口集積を形成していることに加え、早くから文化都市として栄えたことから、各種の教育機関が充実した地域であり、地域内の大学や高校などを合わせ毎年約4,500人も多彩な人材が社会に送り出されています。また、暮らしやすい環境であることから、地元に戻りたいと考えている人も多く、幅広い年齢層が働く場を求めています。

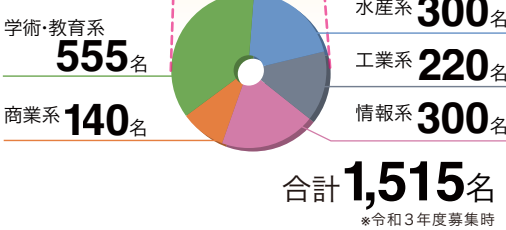
多様な人材を養成する
函館地域の教育機関入学定員合計

4,419 名

函館地域の教育機関別入学定員数グラフ



高等教育機関の産業別入学定員数グラフ



北海道大学大学院水産科学研究院
北海道大学水産学部

海洋・水圏の環境、資源、生命および産業に関する高度な研究能力を有する人材を育成しています。
【学部構成・入学定員】
■水産学部 175名 ■大学院 125名



北海道教育大学函館校

豊かな現代的教養と専門的学芸で地域社会に貢献する人材を育成しています。
【学部構成・入学定員】
■地域協働専攻 240名
■地域教育専攻 45名
■大学院 約20名



公立はこだて未来大学

情報技術に根ざした産業と研究開発を支える人材を数多く輩出しています。
【学部構成・入学定員】
■システム情報科学部 複雑系知能学科 120名
情報アーキテクチャ学科 120名
■大学院 60名
●社会連携センター設置
●AI研究センター設置



函館工業高等専門学校

一貫した教育プログラムのもとで、工業系の実践的技術者を育成しています。
【学部構成・入学定員】
■生産システム工学科 120名
■物質環境工学科、社会基盤工学科 各40名
■専攻科 (本科修了後2年間) 20名
●地域共同テクノセンター設置

地元就職希望率
(Uターン含む)

65.4 %

地元就職希望率
全国ランキング

- | | |
|------|-------|
| ①東京都 | 89.1% |
| ②大阪府 | 78.1% |
| ③愛知県 | 74.5% |
| ④福岡県 | 69.2% |
| ⑤沖縄県 | 67.2% |
| ⑥北海道 | 65.4% |
| 全国平均 | 49.8% |

(令和元年5月 民間就職支援会社調査)

■函館しごとネット

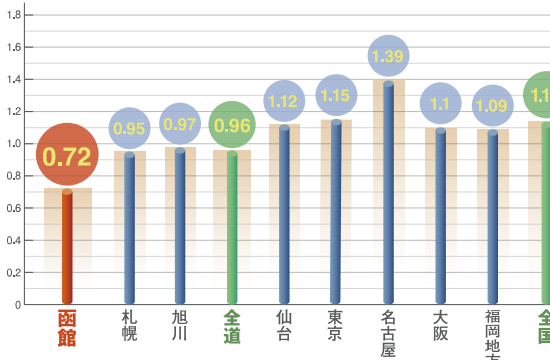


市内企業情報、創業・起業情報、就職に関するイベント情報などの発信や、UIJターン希望者向けの職業紹介を行い、函館市で働きたい人をサポートします。

有効求人倍率

0.72 倍

【他地域との有効求人倍率の比較】 (令和3年6月 各都道府県労働局 原数値)

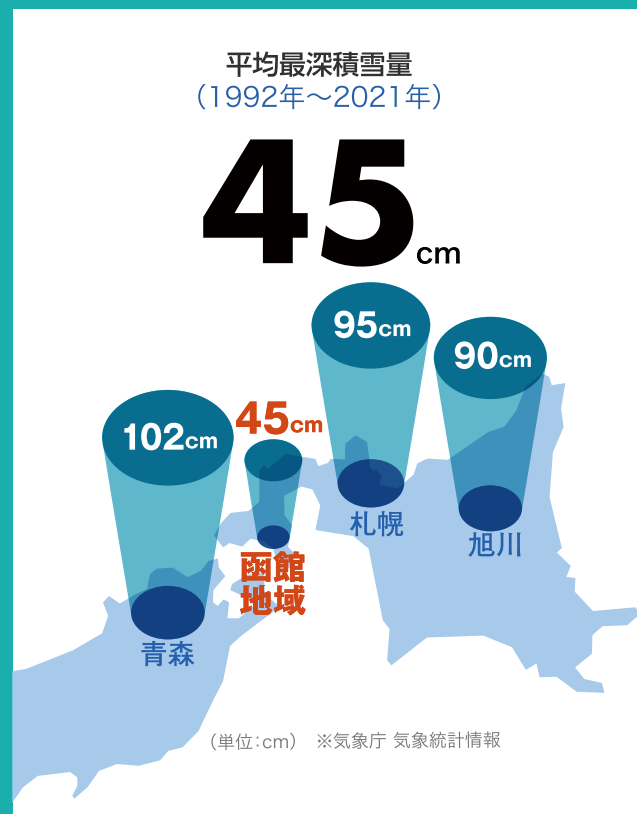
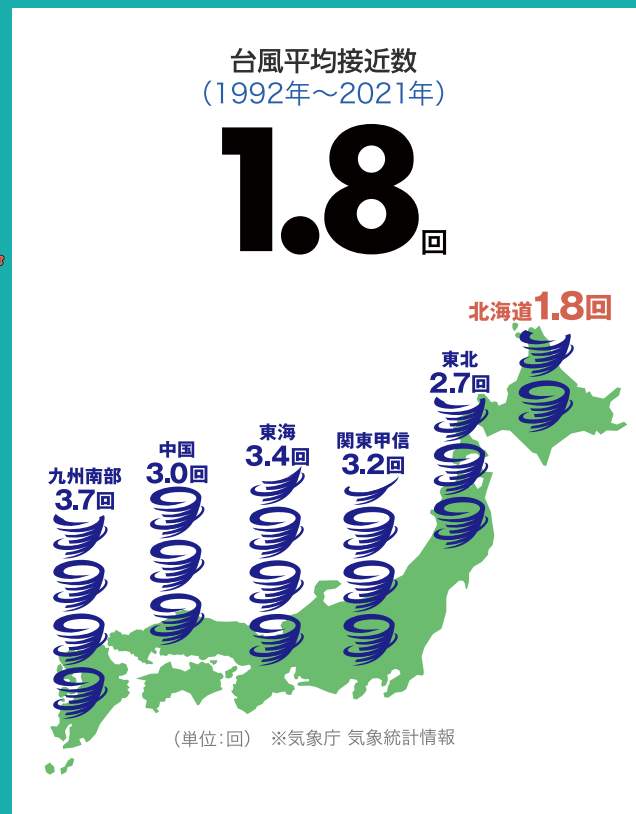
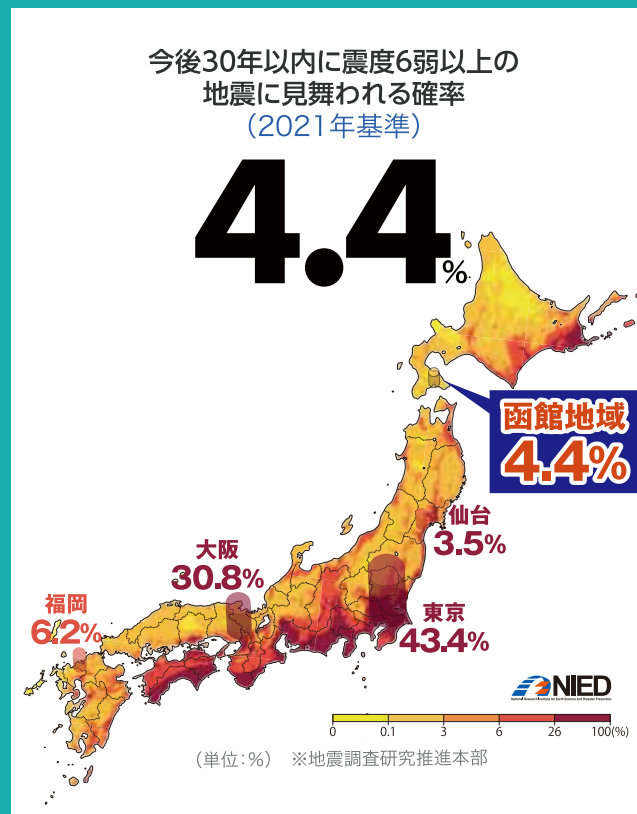


【新規求職者 年齢別構成比】 (令和3年6月 函館公共職業安定所)



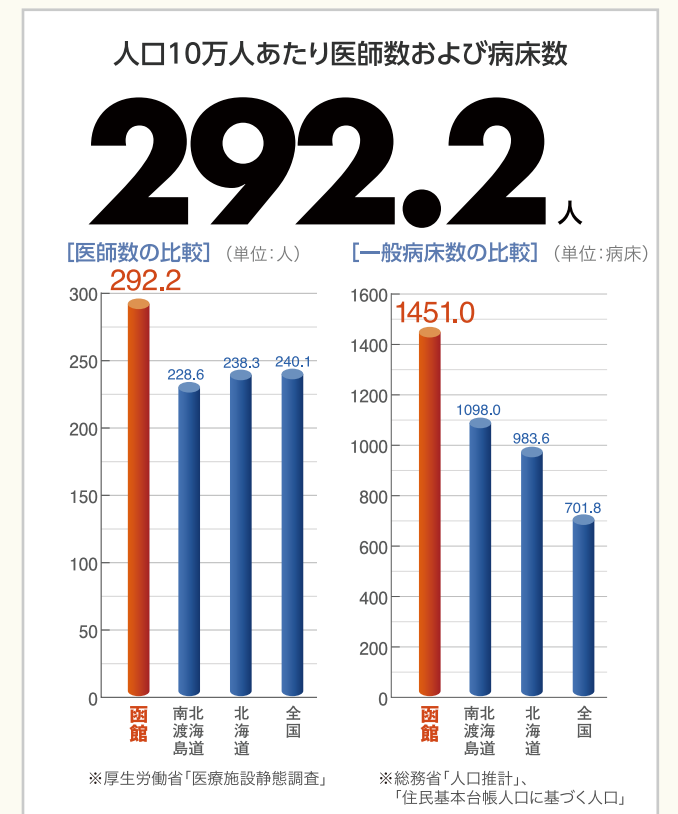
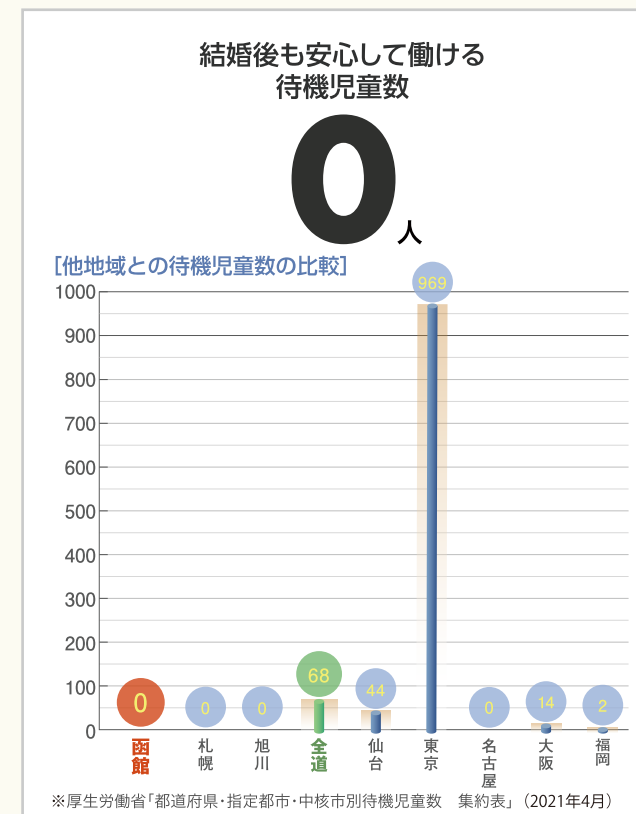
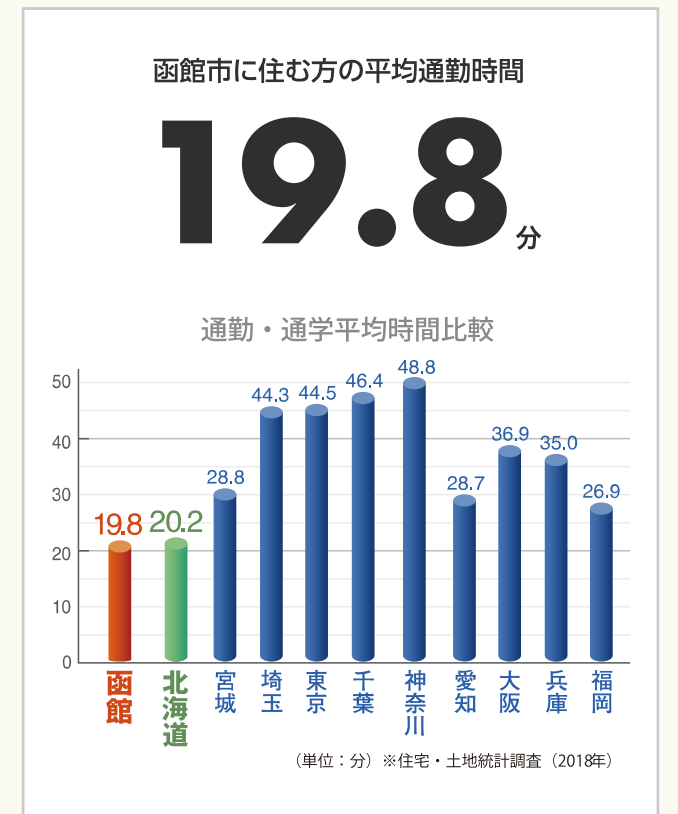
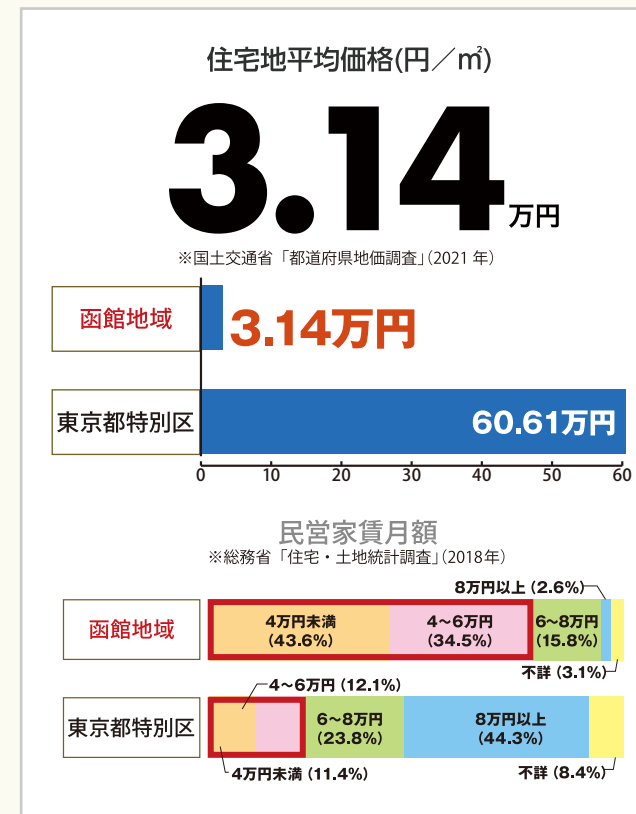
地震・台風など自然災害が少ない地域

年間を通じて安定した快適な気候。北海道の冬のイメージとは異なる函館地域の冬。
昨今話題に上ることの多い、地震・台風などの自然災害のリスク回避・分散(BCP対策)に大変適しており、
IT関連オフィスをはじめ工場や一般家庭にもやさしい地域といえます。



ゆとりある暮らしがあります

地方の都市部へと移住を希望する意識が高まっています。少しの不便と引き替えに
通勤時間を減らし家族との時間や趣味の時間に充てる。そんな暮らしを実現する広々とした住まいを用意する。
家庭は大切と思いながらもキャリアを捨てるのも惜しい。そんなスタッフに応える「函館地域」は、
自然とのふれあう環境と医療機関、教育機関がバランスよく存在するコンパクトな生活圏を形成しています。



工業団地

北海道新幹線新函館北斗 駅前商業業務系団地

土地区画整理事業により北海道新幹線新函館北斗駅南側の13.5haを整備し、うち5.2haを商業用地として造成しております。北海道新幹線の当面の始終着駅として、札幌方面への在来線特急や函館方面への函館ライナーが停車し、路線バスや都市間バスなどが乗り入れる南北北海道の交通結節点です。観光やビジネスなど、多くの利用が見込まれる交通アクセスに優れ、発展が期待される商業業務系の団地です。



函館臨空工業団地

函館空港から車で約8分の小高い丘にあり、首都圏とのアクセスに優れているほか、市街地を見下ろす景観と自然環境にも恵まれています。工業立地法で定める「工業団地の特例」が適用され、緑地や環境施設の確保が免除されています。



■所在地／函館市鈴蘭丘町・東山町 ■面積／2,724㎡～11,458㎡
10区画 ■分譲価格／10,000円/㎡ ■貸付料／10年以内の土地購入を条件に月額11円/㎡程度（区画により異なります。）



函館地域経済牽引事業促進協議会

事務局：公益財団法人函館地域産業振興財団 総務企画部

〒041-0801 北海道函館市桔梗町379番地 TEL.0138-34-2600 FAX.0138-34-2601



このパンフレットについてのお問い合わせは、下記の各市町までお願いします。

函館市経済部工業振興課

〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号
TEL.0138-21-3307 FAX.0138-27-0460
E-mail:yuchi@city.hakodate.hokkaido.jp

北斗市経済部水産商工労働課

〒049-0192 北海道北斗市中央1丁目3番10号
TEL.0138-73-3111(内線285~287) FAX.0138-73-1415
E-mail:syoko@city.hokuto.hokkaido.jp

七飯町経済部商工観光課

〒041-1192 北海道亀田郡七飯町本町6丁目1番1号
TEL.0138-65-2517 FAX.0138-66-2054
E-mail:shoukougankou@town.nanae.hokkaido.jp